

ヒガンバナ(赤)。

筆者が本種を島内で採集したのは1頭だけであり、それがヒガンバナで吸蜜していた♂である。

台湾ウチワヤンマとウチワヤンマ混棲す

1981年8月9日～13日津名郡東浦町浦の池にて、台湾ウチワヤンマ *Ictinus p-ertinax* とウチワヤンマ *Ictinus clavatus* の♂が、池の周辺に落ちている枯枝に1mの間隔をあけて静止しているのを観察した。附近の池にも台湾ウチワヤンマが多く見られたが、ウチワヤンマは見られなかった。又、同池周辺の柳の樹液にシラホシハナムグリ *Prot-aetia brevitarsis* が多く、18♂23♀を採集した。

(田中 稔)

五色町でエゾスジグロシロチョウを採集

1981年10月31日に津名郡五色町広石中の紺原林道入口のミカン園の側で、本種の1♂を採集したので報告する。

これまでに淡路島では、北淡町常隆寺山^①、同町江崎^②、津名町佐野興隆寺^③の記録があるが、五色町では初記録と思われる。

個体数は少なく、この他に本種かスジグロシロチョウか定かではないが1頭見かけただけである。県下に於て、本種は低地にも広く分布しているので、よく調査を行えば、淡路島でもまだまだ生息地が見つかるものと期待している。

<参考文献>

- ① 登日邦明(1974) 淡路島の蝶相(1) 佳香蝶26(98):9-15.
- ② 広畑政己(1980) エゾスジグロシロチョウの採集記録数例 ひろおび(5):6.
- ③ ——(1980) 淡路島の蝶類調査報告 PARNASSIUS(23):5-8.

(広畑政己)